

最上町の let's Challenge !

Vol.6

強さの秘訣、「ボクシングが生活の一部」

ボクシングに集中できる環境に感謝

菅 将吾 さん

13歳 志茂地区



平成22年生まれ。最上中学校1年。部活：柔道部。最上ボクシングクラブ所属。全日本UJフレッシュボクシング東北大会優勝、全日本UJボクシング王座決定戦東日本大会ベスト4。趣味：ツムツム。好きな言葉は：「世の中根性」。理由：根性があれば何でも乗り越えられる。

ボクシングを始めたのは小学校2年生の頃。「家族みんながボクシングをしていたので自分もやりたくなりました。」と話す菅将吾さん。先日行われた全日本UJボクシング王座決定戦東日本大会では、中学1年生ながら堂々のベスト4という結果を残し、令和6年3月22日に行われる全国大会への切符を手に入れました。「東日本大会に出場した時は、自分でも驚くほど集中力が発揮できた。」
そんな菅さんは、小学5年生の頃にデビュー戦を飾り、初出場で持ち前の精神力と技術で好成績を残しました。強さの秘訣は何かと尋ねると、「規則正しく日々の生活を送ること、筋力トレーニングや基礎トレーニングなどを普段から自主的に行うこと。」と話します。
また、日々の練習終了後は「ボクシングノート」に、練習中の良かった点、悪かった点、今後の試合にどう結び付けていくかなどを書き、試合前に意識を高めるために読み返すそうです。
勝つための努力を継続している菅さんですが、ボクシングに打ち込むことが出来る家

族の支えや、練習環境に感謝していると云います。「強くなるために家族が支えてくれる。まさにボクシングをするための環境です。」そんな環境で育った菅さんは、小学生の頃に勝てなかった相手にも、中学生になってからは負けなくなり、環境の大切さと努力が好成績につながることを感じているそうです。
3月に開催される全国大会の意気込みについて尋ねると、「今回が初出場ですが、気合いは十分です。年上の先輩たちが沢山参加しますが、1年生だからと言ってひるまずに気



▲新庄東高校で週一回トレーニングを行なっている

合いと根性で優勝を目指します。」と話してくれました。
将来について尋ねてみると「日本チャンピオンを目指します！そして、ボクシングの面白さを全国に広められるようにコーチ、ボクシングジムの経営者になりたいです。」と語ってくれました。
全国大会では今までの積み上げた努力が実り、好成績を収められるよう、ご健闘をお祈りします。



▲優勝を飾った東北大会での試合

最上ボクシングクラブの活動情報についてはこちらをご覧ください

QR code

